

授業科目 在宅看護援助論Ⅱ	区分・教育内容		
	統合分野 在宅看護論		
授業担当者	開講時期	単位	時間数
堀井 喜世子 (専任教員)	中期	1 単位	15 時間
授業の目的 在宅で行われている医療技術を学び、療養者・家族への生活支援の実際を理解する。			
授業の目標 1. 在宅における医療管理を必要としている対象者の特徴を理解する。 2. 合併症の予防方法・安全管理と支援の方法を理解する。 3. 療養者・家族への知識・技術の取得の指導・教育の援助ができる。			
授業概要 在宅看護は、地域で療養する人が「望む生活」を維持し「自立支援」するために社会資源を用いながら生活の場において看護を提供していくことである。在宅医療の整備に伴い多様な療養スタイルが認められ、高度な看護技術の提供を必要とする対象者が増加した。ここでは地域で療養する方の自立支援のための、基礎看護技術・臨床看護技術を応用した在宅医療技術を学ぶ。			
授業計画 (進め方) 1 回目 在宅中心静脈栄養法 2 回目 経管栄養法 3 回目 膀胱留置カテーテルの管理 家族指導パンフレットを作成してみよう 4 回目 ストーマケア 5 回目 褥創の予防とケア リスクアセスメント・スケールで採点してみよう 6 回目 在宅人工呼吸療法 7 回目 在宅酸素療法 8 回目 試験			
テキスト 角田直枝編集 よくわかる在宅看護 学研 任和子編集 基礎・臨床看護技術 医学書院 ナーシンググラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア メディカ出版			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			